

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設の玄関ホールに壁に掲示している。定例会時には皆で唱和し、意識づけし実践に繋げている。	開設時に職員全員で検討し、事業所独自の理念を作成しており、玄関に理念を掲示し、理念の実践ができるよう毎月の定例会議時に理念を復唱するようにしています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会が主催する花植え、運動会、風の子フェスティバル、さいの神等に参加。施設行事を行う時は、地域のボランティアの方に来訪して頂き協力を得ている。	事業所で地域の方にも来て頂けるように食堂を開催したり、地域のボランティアの方に来てもらったり、中学生の体験学習を受け入れたり、地域の運動会やさいの神にも参加するなど、地域とのふれあいが心がけられています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ボランティアの受け入れ、地域行事への参加。施設行事を行う時は地域の方を招き一緒に活動したりして交流を図っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二か月に一度、自治会長様、区長様、民生児童委員様、家族会会長様、市役所担当者様にご参加頂き会議を開催し意見交換を行っている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催しており、自治会代表者、地区の区長、ご家族代表、民生委員、市の担当者から出席してもらっています。参加者へ事業所の状況報告を行い、会議で頂いた意見はしっかり受け止めて向上するように努力しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	電話や訪問時、市の担当者から生活保護の入居者様、独居の入所者様の相談や運営についてアドバイスを頂いている。	市の担当者には運営推進会議にも参加していただき、アドバイス頂いているほか、困難事例の相談や不明な点について連絡を取り連携が図られています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定例会等で身体拘束の必要性について話し合い、検討している。また、研修会に参加し正しく理解するようにしている。	やむを得ずご家族の同意のもとに身体拘束を行っているご利用者もいますが、身体拘束に関する検討も職員会議時に行い、できるだけ身体拘束を行わない方針が周知されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について学ぶ機会を持ち、日頃の会話の中や、入浴、排泄介助時には皮膚観察等に注意を払い防止に努めている。	虐待の防止に関する検討の機会も設け、職員の言葉遣いについても、気になる点があれば職員同士で注意し合える関係があり、虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理財産制度の対象になる方が居る。話し合いの機会を持ち活用できるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、ご家族様には重要事項説明書を中心に説明させて頂き質問に答え理解、納得をして頂いている。また、改定時にはその都度お知らせし了解を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事務所カウンターに意見箱を設置し面会時意見を頂いている。また、電話連絡時にも意見、要望を頂いている。運営推進会議や毎月の職員の定例会時に報告し、より良い施設運営や環境づくりに努めている。	運営推進会議の場だけでなく、面会時や電話連絡の際などに気付いたことや要望は無いか確認しています。また、事業所行事にはご家族にも参加して頂くように努め、ご家族との交流を図り意見が出易くされています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催される定例会時以外でも個人面談を実施し意見や提案を聞く機会を設けている。それについて検討し、働きやすくやり甲斐のある職場環境が作れるよう努力している。	毎月の定例会議の場で職員の意見や要望を確認しており、個人面談も実施し、職員からの意見を吸い上げられるようにされています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回面接を行い職員の意見を聞いたりアドバイスをしている。就業規則に基き行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は施設内外の研修に参加している。研修後は定例会時等に研修内容を説明、報告し知識向上の為に役立っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターが主催するケアフォーラムに参加し、他事業所の職員と交流を図ったり、ネットワーク作りをしサービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人、ご家族から十分な情報収集を行い、その人の生活歴などを把握するよう努めている。本人の要望や新しい環境での不安を少しでも軽減できるよう安心確保に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面接時、ご家族の困っている事や不安に思っていることに十分耳を傾け、良好な関係が築けるよう配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、ご家族から良く話を伺い、今何が一番困っているのか、どのような支援が必要なのかを見極め、「その時」にあった支援が出来るよう対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護と言う観点から、なるべくできることを手伝って頂き、共に生活できるようにしている。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には気軽に来所していただけるような雰囲気作りを心掛けている。面会時口頭で状況報告をしたり、定期的に電話や手紙で近況報告を行い、本人を支えていく関係を継続している。	ご家族に事業所広報を送付しているほか、居室担当者が個別にお手紙も作成して送付しており、日頃からよくご家族とコミュニケーションが取れており、受診・外出の支援もご家族の協力をいただくなど、一緒に支えあうことができるよう関係づくりに努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人が面会に来られた時は居室や相談室でゆっくり話ができるよう配慮し、これまでの馴染みの関係が途切れないよう支援している。	ご家族やご近所の方に定期的に面会に来ていただいたり、行きつけの床屋へ出かけたり、自宅への外出や、友達と一緒に旅行に出かけたりと今までの関係継続支援に努めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しそうなときは隣のユニットの利用者と交流できるよう関係作りを支援している。出来ない利用者のお世話をしてくれたり、車いすを押すなどお互い助け合い、支え合えるような関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所を希望された時には、十分に相談に乗り、また退去した後も連絡先を把握している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人のやりたいことや、楽しみな事などをお聞きしご希望に添えるよう支援している。聞き取り困難な方は、日々の様子観察を行い、ユニット会議などで話し合い、検討している。	日々のケアの中での表情や会話の中から思いの把握が行われており、その情報は職員間で共有され、介護計画の検討に活かされています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活歴やサービス利用状況など、初回面接時に本人やご家族、施設職員から詳しくお話を伺い十分な情報収集が出来るよう努めている。	ご本人やご家族からの聞き取りにてこれまでの暮らしの把握が行われ、ご本人の生活歴や嗜好を確認しており、定期的にあセスメントシートを見直しています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人が自分のペースで心地良く生活が送れる様、日々の行動の観察に務めている。本人の出来ることを見つけプランに位置付けて、日課として取り組んでいる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時は、本人、ご家族のご希望を伺うと共に、介護職員や看護職員と話し合い、カンファレンスを行っている。モニタリングは3か月ごとに行っている。	サービス担当者会議にはご家族にも参加して頂き、モニタリングも3ヶ月に1度行うなど、それぞれの意見を取りまとめケアプランを作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに日々の活動や食事量、体重、排泄状況、バイタルを記録し状態を把握している。職員間で情報を共有し、状態変化があった場合は介護計画の見直しもしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の今までの生活歴を十分に把握し、その時々発生するニーズに対し、柔軟な考えで対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の外に出て散歩をしながら、季節感を味わっている。地域の行事には声をかけていただき、参加して楽しんでいる。また地域の皆さまからのボランティアをお願いしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族の希望で近くの診療所の先生から往診に来て頂いている。緊急時にも快く診て頂ける関係作りが出来ている。先生の指示で救急搬送時はご家族が対応出来ない時は、施設職員が対応している。	かかりつけ医はご本人の希望するかかりつけ医となっており、事業所にも往診に来ていただいています。必要に応じ事業所から情報提供を行い、医師との状況の確認が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は常日頃状態観察を行い、異常がある時はすぐ看護職員に報告をしアドバイスを受けている。急変時はすぐに受診や往診が出来る体制になっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は地域連携票を提出し、情報交換に努めている。退院に向けて病院の関係者と退院前カンファレンスを行うなど関係作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りを含めた今後の意向をご家族にお聞きし、同意書を頂いている。また、重度化した利用者様には、本人や家族の希望をお聞きし、状況に合わせた特養などの他施設への紹介も行っている。終末期における研修にも参加している。	契約段階で事業所で看取りまで行う旨を説明しており、ご利用者の状態に応じて話し合いの場を持ち、ご利用者・ご家族の意向を確認し、事業所でできることを伝え支援していきたいと考えています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、利用者の急変時には慌てずに対処できるようにしている。また救急法などの講習会にも参加している。	消防署職員からAEDの使用講習を受けたり、必要時には看護師からも指導を受ける等、急変時に適切な初期対応ができるようにしています。	普通救命講習に職員が定期的に受講できるように、計画を立てられることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間を想定した避難訓練を定期的に行っている。近隣施設や近隣住民に緊急時の協力を行っている。	夜間の火災を想定した避難訓練を定期的に行っており、非常用の食品や水も確保する等、災害時に適切な対応ができるようにされています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格、思いを大切に、誇りやプライバシーを損ねる事の無い様に支援し、安心、安全に過ごして頂けるよう心懸けている。	ご利用者への言葉かけ等が馴れ合いにならないよう、ご利用者の人格を重視したケアが行えるように職員会議の場等で徹底されています。また、広報への写真の掲載についても、契約時に確認しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で観察することを大切に、何を求めているかを理解し、自己決定出来るような雰囲気作りを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人、一人の利用者のペースを大切に、無理のないようにその時の状況にあった生活が出来るよう支援しているが、職員体制により希望に添えない時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	美容院へ行って髪をセットしたり、訪問理髪などで髪をカットして頂いている。また、本人に確認しながら季節に応じた服装をして頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その人に合った食事形態で食事の提供をしている。メニューによっては野菜の皮むき、食材切り等を一緒に行い、盛り付けや食器洗い等の片づけも一緒に行っている。	ご利用者のできる範囲で調理や後片付けも行ってもらっています。また、事業所の畑でも野菜をつかっており、収穫はご利用者の楽しみとなっています。ご利用者と一緒に外食に出かけたり、ぼたもち作りを行うこともありました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の利用者の摂取状態に合わせた食事形態や量にしている。栄養士や調理師、看護師と相談しながらバランス良く食事が出るよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛け、介助を行っている。また、月に2~4回歯科衛生士より診てもらい、指導してもらっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを確認しながら定時誘導や声掛けで排泄を習慣づけ、失敗せずトイレで排泄できるように支援している。	必要なお利用者には排泄チェックを行ない、一人ひとりに合わせた適切な誘導、支援をしています。トイレも各居室から入れるようになっており、職員のさり気ない見守りや声かけで気持ちよくできています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時に牛乳を飲んで頂いたり、定時の水分補給以外にも水補に努めている。また適度な運動を取り入れて便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めてあるが、その日の体調、気分に応じて無理をせず日にちを変えたりして対応している。	入浴を嫌がるご利用者にもうまくタイミングを見計らい、入浴していただけるようにしています。また、ホームには一般浴と特殊浴槽があり、ご利用者の状態に合わせた入浴支援ができるようになっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の天候や一人ひとりの体感温度に合わせて居室内の温度設定や照明を考慮。毛布、湯たんぽを使用し安眠できるよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の指示のもと服薬介助と確認を行っている。また状態変化がある時は看護師に連絡している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの楽しみ思いをいろいろな面から把握し、食事のお手伝い、塗り絵、縫い物の声掛けをし、張り合いのある生活ができるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望に添って個別に対応している。時々、利用者様と一緒に買い物に出掛けたり、日程を決めドライブや外出に出掛けている。また、他事業部より誘いを受け、一緒に活動したりして気分転換を図っている。	ご利用者と一緒に近くのスーパーに食材の買物に出かけたり、散歩に出かけたりもしています。また、季節に合わせたお花見や菜の花見学などの外出も実施しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々のお金については事業所で預かり必要物品は購入し、ご家族に報告している。自身で管理が出来る方に関しては本人管理のもと、お金を所持し、使ってもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	プライバシーに配慮しながら個々に取次ぎの支援を行っている。手紙の取次ぎも行っているがこちらから手紙を出すことは殆どない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のスペースには、季節感が感じられるよう季節の花を飾ったり、壁の装飾や写真に工夫を凝らしている。また、音楽等を流し心地よく過ごせるよう配慮している。	リビングは広々として開放感があり、和室もあり、ソファも置かれてあり、ご利用者がゆったりとテレビを見ながら過ごせるスペースとなっています。ホームに飾られている写真や装飾品も季節に合わせてあります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の両端や途中にソファ、ベンチを置き景色を眺めたり、気の合う人と話をしたり、一人で過ごしたりできるよう支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていたダンスやテレビ等を持ってきて頂いている。その他テーブルや椅子、電気マッサージ器等で自宅で過ごす感覚で過ごして頂けるよう工夫している。	居室には、仏壇やダンスなどの使い慣れた物を自宅から持ち込んでもらっています。また、フローリングの居室に畳を敷いたり、ご家族の写真を飾るなどして、その人らしいお部屋作りの工夫をしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に自立した生活ができるように、バリアフリーとし、廊下や居室、トイレ、浴室等に手すりの設置をしている。安全な移動と転倒防止に努めている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない